

# 言文だより

秋の号  
No.4  
2004年11月発行

九州大学大学院言語文化研究院

言語文化研究院広報委員会 genbun@flc.kyushu-u.ac.jp

## アフガニスタンの復興に向けて — 小松太郎助教授とのインタビュー —

小松太郎助教授は、文部科学省の依頼で、アフガニスタン教育省の教育アドバイザーとして、7、8月の2ヶ月間、同国の教育復興政策の立案に協力してきました。この度帰国した小松助教授にインタビューしました。



子供たちと一緒に▶



▲アフガニスタンの女子学生

どうも、お疲れ様でした。カブールの第一印象について話して頂けますか。

小松 カブールに着いてはじめて感じるのは、戦争の悲惨さです。町には負傷した人々の姿が見られます。また治安上軍事基地が各所にあるのも目につきます。そして、日本から行くと、ブルカ（アフガニスタンの女性がかぶっている全身を被うべールのこと）をまとった女性たちが印象に残ります。

# Interview

カブールでなさった活動は、どんなものだったのですか。

小松 私がカブールで行った仕事は、大きく2つに分けられます。教育政策支援と教育援助調整です。教育政策支援とは、現地の教育省の教育諮問委員会が目指す長期的教育政策の立案に向けて協力することです。私はこれまで、ボスニア等の地域における紛争後の教育政策の援助に携わってきました。今回も適切なモデルの提供に努めました。アフガニスタンでは、様々な部族間の融和を図りながら、イスラム教という共通の宗教のもとに新たな国家を築くという大きな課題があります。

教育援助調整とは、カブールにきている国連、NGOをはじめとする数々の援助機関の間で業務の重複などが起こらないようにすることで、会合を開いて調整を図ります。教育援助でJICAが行っているプロジェ



カブール市内

クトとしては、教員養成と識字教育があります。長年の戦争のために、優秀な人材が失われ、9割近くの教師が無資格で授業を行う中で、8割の人々は十分に文字が読めないという状況を改善しようというわけです。また最近では、宗教教育と並んで、科学教育も重視されるようになってきています。

確かに、復興にむけて、様々な活動が展開していることがわかりましたが、そうした現状での問題点としては、どのようなものがありますか。

小松 こうした現状を反映して、アフガニスタンにおける問題としては、まず人材不足があげられます。優秀な人材が戦争で失われるとともに、新たに人材を養成する人もいないのです。また優秀な人材がいても、そうした人々は海外に出たり、国内に



カブール市内

## Interview

いても収入面で安定した国際援助機関にポストを求める傾向があります。こうした逸材の流失に加えて、援助活動自体の難しさがあります。基本的に援助事業においては、人件費等の分野には資金を提供しないことになっています。援助地域の経済的自立を促し、悪しき経済的依存状態を防止するた



バーミアンの学校



教育諮問委員会のメンバーとともに

めです。ただこの方針が、紛争終了直後の不安定な地域の回復を、ともすれば遅らせるのではないかというジレンマがあります。ただ、こうした中であっても、子供たちは、戦争終結後に初めて可能になった学習環境を楽しんでいるようです。

## Report

### 「9.11」後の世界

— 新たな国際協力の在り方を考える —

標記公開講座が、8月28日から10月16日までの毎週土曜日、8回にわたり行われました。言語文化研究院からの3名の講師のほか、工学研究院、法学研究院、比較社会文化研究院、人間環境学研究院からも講師を迎え、新たな国際協力の在り方をさまざまな角度から学際的に取り上げました。

eラーニングとコミュニティ、地方自治体やNGOの活動、社会開発や教育復興、多様な文化遺産の保護といったテーマが、スライド写真等による豊富な実例とともに紹介され、2時間半の長い講義時間にもかかわらず、約50名の受講者は熱心に耳を傾けていました。国際協力の現場で、言語や宗教、文化等の違いを認識したうえで活動することがいかに大切かが、各講師の話から伝わってきた講座でした。また、国際交流に従事する専門家の育成の必要性が改めて認識された講座でもありました。

## 箱崎分室 高年次生・教職員のための外国語授業

### 平成16年度後期 箱崎分室開講授業一覧

白色の欄は言語文化科目Ⅱ、灰色の欄は外国語コミュニケーション科目

詳細は、<http://www.rc.kyushu-u.ac.jp/~ilcbr/>

時限	月	火	水	木	金
1 8:40 ～ 10:10	英語ダイベートⅡ (アンスコム・飯野)	人文科学英語講読 (小松)	英語会話Ⅱ (クイン)	英語エッセイ・ライティングⅠ (山下)	英語会話Ⅰ (ウエストリック)
			英語リーディング・セミナーⅡ (小松)	英語リスニング・セミナーⅡ (アンスコム・飯野)	
2 10:30 ～ 12:00	英語リスニングⅡ (アンスコム・飯野)	英語会話Ⅱ (小松)	実用英語演習Ⅱ (小松)	英語リスニングⅠ (アンスコム・飯野)	英語スピーチⅠ (ウエストリック)
		フランス語作文コース (阿尾)	表現スペイン語 (矢嶋)	時事英語講読 (山下)	朝鮮半島の言語と文化 (申)
3 13:00 ～ 14:30	速修ロシア語Ⅱ (佐藤)		オランダ語基礎Ⅱ (田中俊明)	速修インドネシア語Ⅱ (遠藤)	
4 14:50 ～ 16:20	速修イタリア語Ⅱ (スリス)		入門フランス語 (田中陽子)		
			速修ドイツ語 (田畑)		
			速修中国語Ⅱ (潘)		
			ドイツ語社会文化セミナー (田中俊明)		
5 16:40 ～ 18:10	時事英語講読 (ドヨン)	実用英語演習Ⅰ (山下)	英語会話Ⅱ (スモール)	英語スピーチⅡ (ファーネル)	英語リスニング・セミナーⅠ (ポーブリッツ)
		ドイツ語表現・セミナーⅡ (カスヤン)	エスペラントⅡ (田畑)		フランス語実用会話 (ホスーシュ)
			ドイツ語訳読法 (鈴木)		
			中国語口語Ⅰ (潘)		
6 18:30 ～ 20:00	英語会話Ⅰ (ドヨン)	英語ライティング・セミナーⅡ (山下)	自然科学英語講読 (スモール)	英語エッセイ・ライティングⅡ (ファーネル)	英語会話Ⅱ (ポーブリッツ)
			言語コミュニケーション論 (井上・他)	時事スペイン語 (青木)	

## 国際協力相談室

発展途上国の社会開発問題に興味のある学生を待っています。

オフィスアワー：火曜日 午後1時から午後4時まで

水曜日 午後1時から午後4時まで

国際協力相談室（言語文化研究院箱崎分室内）

TEL & FAX：(092)642 2284 E-mail：isclc@flc.kyushu-u.ac.jp